

遺跡学の宇宙

遺跡の調査・保存・整備の体制と手法が作り上げられる戦後黎明期に活躍した十三人の碩学たち。この碩学たちが今だからこそ語ることで、当時のリアルな動きや思想がある。そのような視点からおこなった全九回のインタビューの記録。

編集 恵谷浩子・前川歩
デザイン 志水良
発行 日本遺跡学会
刊行日 2014年11月20日
印刷・製本 能登印刷株式会社
内容・体裁 B5変形・246頁
頒布価格 2,500円
日本遺跡学会
問合せ先 日本遺跡学会
〒630-8577
奈良市二条町29-1
奈良文化財研究所景観研究室内
TEL 0744-2306816
FAX 0744-2306841
Email iseki-g@nabunken.go.jp



目次

第一章 「戦後埋文保護行政の羅針盤」
坪井清足氏

第二章 「遺構主義から遺跡主義へ」
平野邦雄氏

第三章 「関西考古学界の戦後」
金関恕氏・水野正好氏・中尾芳治氏

第四章 「黒板昌夫先生の思想」
仲野浩氏

第五章 「奈文研と遺跡の調査・保護」
狩野久氏・八賀晋氏・河原純之氏

第六章 「測量と庭園と遺跡整備」
牛川喜幸氏

第七章 「遺跡と都市計画の接点」
渡邊定夫氏

第八章 「史跡保護の広がり」
笹山晴生氏

第九章 「文化財保護における造園学の役割」
井手久登氏

戦後黎明期を築いた十三年渡人
坪井清足 平野邦雄 水野正好 金関恕 中尾芳治 仲野浩 久野久 賀晋 河原純之 牛川喜幸 渡邊定夫 笹山晴生 井手久登
日本遺跡学会・編 録